



# 梅田中だより

<第24号> **2月**

## 晴れの舞台、全国大会で力を出し切りました。



滑り出す前の決めポーズ



バランスの取れた滑り

1月31日(月)、本校の3年生女子生徒が、全国中学校フィギュアスケート大会の大舞台上で、これまで練習で培ってきた成果をすべて発揮して、見事に滑りきりました。

会場は、1998年に開催された長野冬季オリンピックで使用された長野県のビッグハットです。昨年は、コロナウィルスの感染者数の増加により、残念ながら全国大会そのものが、中止となってしまいました。今年大会開催も危ぶまれていたのですが、今年度は、感染対策を十分に行った上で、実施することができました。

しかし、大会当日にスケートリンクに入ることが許されるのは、選手と監督、そして、コーチのみという、徹底した感染対策が実施されています。

梅田中では、インターネットの Utube に配信された動画を見ながら応援をしました。一度も転倒することなく、無事、滑り終えた星野さんに自然と拍手が起こりました。私たちが見た限りでは、県大会の時よりも、より一層演技に磨きがかかっていたように思えます。結果は自己ベストを更新し、全国の強豪の選手たちがしのぎを削る中で30位でした。素晴らしい結果です。頑張り屋さんで、日頃から、何事にも手を抜かず、最後まで諦めないこの女子生徒だからこそ、できたことだと思います。よく頑張れたと思います。



華麗なスピントーン

## 今年の体育の「剣道」の授業は、ちょっと違います。

現在、梅田中の体育の授業では、剣道の授業が行われています。1年生の子供たちは「剣道」の学習に取り組むのは初めてなのではないでしょうか。

体育の授業では、武道として「柔道」「剣道」「相撲」の中から、1種目を選択し、子供たちに指導しています。多くの学校が武道では、「柔道」を選択する機会が多いようです。本校の体育担当の藤生先生には、「剣道」の経験があるので、梅田中ではこれまでも「剣道」の指導をしてきました。

しかし、今年の「剣道」の指導は、ひと味違います。今年度、赴任した北爪教頭先生は、なんと剣道五段の腕前です。教頭先生になる前は、剣道部の顧問として大活躍し、子供たちを関東大会まで連れていった経験もあります。

北爪教頭先生は、小学校2年生の頃から剣道を始めたのだそうです。始めた時のきっかけは、教頭先生のお兄さんが先に剣道をしていたのを見て、自分もやってみたいと思い、竹刀をにぎったのが始まりなのだそうです。それから、かれこれ50年間、ずっと剣道が好きで、続けてきたのだそうです。

さらに聞いてみると、その当時、教えてくれた先生は、子供たちからはお金はもらわず、ボランティアで教えてくれたのだということです。先生に申し訳ないと思い、教頭先生たちは仲間同士で話し合い、自分たちのお小遣いを出し合って竹刀等の道具代にあてていたとのことでした。

おそらく教頭先生の温かい人柄は、このように、子供たちのためなら、協力を惜しまない優しい指導者の先生と、いつでも協力してくれる仲間の中で、自然に培われたものなのだろうと話を聞いて思いました。ぜひ、教頭先生との練習を通して、教頭先生の真の強さと優しい人柄にふれ、子供たち自身が「思いやり」や「優しさ」とは何なのかに気づく、よい機会になればと思いました。



真剣に挑戦していきます

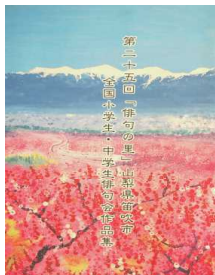


子供たち全員で応援しています



本気で攻められるとタジタジです

# 3年生の作った俳句が、入選しました。



送られてきた作品集

作った作品は、右枠に載せます。

もうだいぶ前になりますが、3年生の子供たちが1学期に国語の授業で「俳句」の勉強をしました。国語の小林教諭がせっかく苦心して作った作品なので、山梨県の笛吹市で公募している、全国俳句コンクールに出展をしました。すっかり忘れていた1月のある日、3年生の男子生徒の作品が入賞をしたとの通知と作品をまとめた作品集が届きました。惜しくも入選には選ばれませんでした。全国から36175句の応募があった中での入賞です。おめでとうございます。



喜びの表情の男子生徒

蝉時雨(せみしぐれ) 白いイヤホン 突き抜ける

# 「生徒会放送局」が開局をしました。



投書された悩みに答える  
生徒会本部役員の子供たち

生徒会本部役員の子供たちの発案で、生徒会放送局が開局をしました。これは1月21日(金)に実施した「桐生市いじめ防止子供会議」の中で、梅田中の取組として紹介されています。生徒会本部役員が設置した意見箱に投書された意見や質問、そして、悩みごとなどさまざまな話題に生徒会本部役員が直接、答えていくというものです。また、昼休みの憩いの時間に、リクエストを受けた曲をかけ、皆さんの気持ちを少しでも元気にすることが目的です。生徒会本部役員の皆さん、頑張ってください。



皆で協力して頑張ります

# 安全を守る、用務員さんに感謝！

1月17日(月)に市内各学校の用務員さんが協力して、梅田中学校の体育館の防球ネットの修繕をしました。普段から、丁寧に使用するにはしているのですが、なにしろ面積の広い防球ネットです。長い間に大きな力がかかり続け、今回、ネットをワイヤーに吊るしていたリングが伸びて、動かなくなりました。故障をしたのは、高さが10m以上もある体育館の天井です。そこで、子供たちの活動に支障が出ないようにと、市内の学校の用務員さんたちが協力し体育館の天井での作業を行ってくれました。



組み上げられた足場

見ても足がすくむような、高所での作業でしたが、皆さんが協力して素早く作業を完了してくれました。これでまた、安全に体育館を使用することができます。今後も、使用しているうちには同様な不具合が出てくるのかもしれませんが。

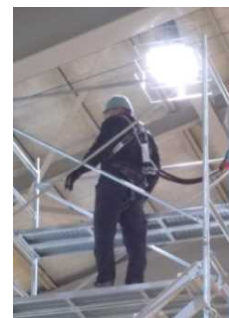
けれど、今回の修繕の様子を見ていて感じたのは、使用する人たちが、器具の扱いを丁寧に、破損するまでの時間を、少しでも長くすることが大事だということです。

社会体育でも、地域の方々に使用してもらっています。皆で使う公共の施設ですので、今後も、大切に使用していきましょう。

10mの高さでの作業はこわいです



足場を念入りに点検していきます



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧ください。